

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
兵庫県地域ワークショップ 報告書

日時	2020（令和2）年2月4日（火）10：00－12：20
会場	兵庫県看護協会ハーモニーホール
参加者	約400名 （・県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員 ・県内の各市町組合教育委員会の関係職員 兵庫県教育委員会、日本体育大学）
プログラム	10：00 開会 10：15 講演「運動の特性に触れ、楽しさや喜びを味わう授業づくり」 帝京大学 教授 高田彬成 11：50 オリンピック・パラリンピック教育実践発表 ・南あわじ市立北阿万小学校 ・小野市立河合中学校 12：15 諸連絡 12：20 閉会
内容	兵庫県学校体育研究発表大会と兼ねて開催され、全体会の一部で推進校の実践発表がなされた。 北阿万小学校では、目的意識を持ち、既存の学習を最大限に生かすことを念頭に実践を計画しており、オリパラコーナーの設置、運動会での「パブリカ」ダンス、夏季休暇学習のオリパラ新聞作成、講演会、玉入れの玉で代用した児童会主催ポッチャ大会、児童集会でのオリパラ発表について報告があった。河合中学校では、発見旅行での海外の方へのインタビュー、福祉体験、人権フェスタでのパラリンピック学習発表など、毎年実施している教育活動を活用した報告がなされた。河合中学校は県内で開催されたパラ馬術大会観戦も実施しており、来年の東京2020パラリンピック大会の観戦を予定しているため、今後も継続的にオリンピック・パラリンピック教育に取り組んでいく方針を示した。 両校とも、既存の学校教育活動に関連してオリンピック・パラリンピック教育の取り組みを実施しており、負担感なく実践ができることを参加した県内教員に向けて発信した。



実践発表の様子